



## PRESS RELEASE

AIG  
175 Water Street,  
New York, NY 10038  
[www.aig.com](http://www.aig.com)

本稿は2022年11月1日、AIG米国本社が発表した英文プレスリリース（原文）の参考訳です。  
本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。  
原文の発信日付で、AIGジャパンのホームページに掲載しています。

### AIG、2022年第3四半期の決算を公表

- ◆ コアブリッジ・ファイナンシャル・インク（ニューヨーク証券取引所取引銘柄：CRBG）（コアブリッジ）普通株式の新規株式公開（IPO）を成功裏に完了。これはコアブリッジ普通株式の12.4%に相当。
- ◆ 損害保険事業部門のコンバインド・レシオは、第3四半期中のハリケーン・イアンおよびその他の大規模自然災害の影響にもかかわらず、前年同期比2.4ポイント改善の97.3%。
- ◆ 損害保険事業部門の保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ\*は88.4%で、前年同期から2.1ポイント改善。グローバル・コマーシャル・ラインが83.0%と、前年同期比5.9ポイント改善したことが主因。
- ◆ 生命保険および退職給付事業部門は第3四半期も堅調な売上を計上。収入保険料および預かり資産は89億ドルで、前年同期の72億ドルから増加。4つの事業セグメントがいずれも前年同期比で増加。
- ◆ 希薄化後普通株式1株当たりの純利益は3.50ドルを計上。希薄化後普通株式1株当たりの調整後税引後利益\*（AATI）は0.66ドルを計上、前年同期の0.97ドルから減少。オルタナティブ投資利益の減少が主因も、損害保険事業部門の保険引受利益の1億4,800万ドル増加により相殺。
- ◆ 2022年第3四半期にAIG普通株式13億ドルを買い戻し。
- ◆ 元本総額18億ドルの債券の償還、買い戻しを発表し、実行。

#### 2022年第3四半期の特筆事項

- 損害保険事業部門の調整後税引前利益（APTI）は7億5,000万ドルで、前年同期比6,100万ドル減少。オルタナティブ投資利益が2億2,800万ドル減少したことが主因。保険引受利益の改善、変動性を減少させ、大規模自然災害損失（CAT）を軽減させた引受規律の継続および再保険プログラムの恩恵を受けたコンバインド・レシオの2.4ポイント改善および事業費率の低下が部分的に相殺。
- 生命保険および退職給付事業部門のAPTI 5億8,900万ドルは、主としてオルタナティブ投資リターンとコールおよびテNDER所得の減少による正味投資利益（NII）減少を反映。ベース・ポートフォリオ所得の増加および死亡率の前年同期比改善がこれを部分的に相殺。2022年第3四半期の生命保険および退職給付事業部門の調整後セグメント普通株主資本利益率\*（調整後ROCE）は年率7.5%。
- 2022年第3四半期のAIG普通株主に帰属する純利益は27億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは3.50ドルを計上。これに対して、前年同期はAIG普通株主に帰属する純利益が17億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.92ドル。
- 2022年第3四半期のAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益は5億

900万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.66ドルを計上。オルタナティブ投資利益を中心に正味投資利益の減少が主因。これに対して、前年同期はAIG普通株主に帰属する調整後税引後利益が8億3,700万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.97ドル。

- 2022年第3四半期の普通株主資本利益率（ROCE）および調整後ROCE\*はそれぞれ年率25.9%、3.7%。調整後ROCEには正味投資利益の減少および大規模自然災害損失が影響。

\*一般に公正妥当と認められた会計原則に従って計算されていない（非GAAP）財務指標を指しています。非GAAP財務指標の定義および最も近いGAAP指標への調整については、本ニュースリリースの「レギュレーションGおよび非GAAP財務指標に関する注釈」の見出しの項をご覧ください。

2022年11月1日（ニューヨーク発）：アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所取引銘柄：AIG）は本日、2022年9月30日までの第3四半期の業績を発表しました。

AIGの会長兼最高経営責任者（CEO）のピーター・ザッフィーノは次のように述べました。

「AIGは直近四半期も極めて堅調な業績となりました。これを推進したのは戦略的優先事項の完遂であり、AIGのさらなる大きな成果であるコアブリッジの新規株式公開(IPO)および損害保険事業部門の保険引受業績の利益継続と変動性低下も目立ちました。こうした業績は、困難なマクロ経済環境や米国史上最大級の保険損失をもたらしたハリケーンを考えると、一層素晴らしいと言えます。」

「コアブリッジのIPOは9月中旬に完了しましたが、成功裏の結果を収めたことに非常に満足しています。これはAIGおよびコアブリッジにとって重要なマイルストーンであり、両社がそれぞれの業界のマーケット・リーダーとして成長と価値を推進し続けることを可能にするものです。」

「損害保険事業部門は、過去数年間のモメンタムを基礎に、再び素晴らしい改善と確固たるパフォーマンスを実現しました。保険事故年度のコンバインド・レシオ（CATを除く\*）は210ベース・ポイント改善の88.4%で、17四半期連続の改善となりました。2022年第3四半期の北米コマーシャル・ラインの労働者災害補償を除くオーバーオール・レートは9%上昇し、引き続き損失コストのトレンドを上回りました。2022年第3四半期の全体的な保険引受利益には極めて満足しています。ハリケーン・イアンに起因する約4億5,000万ドルを含め、大規模自然災害損失が6億ドルに達し、9.8ポイントのコンバインド・レシオとしては、とりわけ満足です。損害保険事業部門の好業績は、グローバル・ポートフォリオ転換と最高クラスの再保険プログラム実施のために私たちが行った質の高い取組みの効果を実証しており、この両者によって変動性を著しく低下させました。」

「生命保険および退職給付事業部門は直近四半期も堅調なパフォーマンスを実現しました。収入保険料および預かり資産は89億ドルと前年同期比23%増加、4つの事業セグメントがいずれも前年同期比で増加しました。個人向け退職給付事業の販売は、定額型年金保険の倍増およびインデックス型年金保険の過去最高の四半期販売を含め、前年同期比16%増の38億ドルに達しました。加えて、債券ポートフォリオからのベース正味投資利益が金利上昇環境の有意な利益を受け始めました。」

「2022年第3四半期には、AIGはブラックストーン・インク（ブラックストーン）およびブラックロック・インク（ブラックロック）との優れたパートナーシップを進展、強化させ続けました。AIGはコアブリッジの運用資産（AUM）500億ドルをブラックストーンに移管し、AIGからの移管分370億ドルおよびコアブリッジからの移管分630億ドルの合計1,000億ドルの資産移管を完了しました。」

「また、AIGは資本管理の規律あるバランスの取れたアプローチを継続しました。AIGはAIG普通株式13億ドルの買い戻しおよび2億4,700万ドルの配当金を通じて、株主に15億ドルを還元しました。コアブリッジは10億ドルのハイブリッド債券を発行し、極度貸付タームローンの15億ドルを引き出しました。2022年第3四半期終了後、AIGは元本総額約18億ドルの債券を償還または買い戻しました。加えて、IPO直後に、コアブリッジは年間6億ドルの配当金コミットメントの一環として、初めての四半期配当金1億4,800万ドルを発表しました。この配当金はすでに支払われています。」

「AIGおよびコアブリッジの献身的な社員により達成されたすべてのことを非常に誇りに思っています。AIGは依然として、卓越性を推進し、リターン改善を実現し、AIGの株主およびその他のステークホルダーに長期的価値を生み出し続けるために良好な位置を占めています。」

2022年第3四半期は継続事業部門の税引前利益は38億ドルを計上しました。これに対して、前年同期の継続事業部門の税引前利益は22億ドルでした。2022年第3四半期のAIG普通株主に帰属する純利益は27億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは3.50ドルを計上しました。これに対して、前年同期はAIG普通株主に帰属する純利益は17億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.92ドルでした。税引前利益増加の主因はデリバティブ活動の正味実現利益の増加および損害保険事業部門の保険引受利益の増加で、これは保険料率引上げの利益持続、好調な契約更改率と新規契約、有利な事業構成の変化ならびに前年以前事故年度の当年度発生戻入金（PYD）増加を反映していますが、オルタナティブ投資利益の減少により部分的に相殺されました。税引前利益の増加は、ブラックストーンの権益9.9%に関連する非支配持分およびIPO後のコアブリッジに対する追加の12.4%の公開変動持ち分に帰属する利益により部分的に相殺されました。

2022年第3四半期のAATIは5億900万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.66ドルでした。これに対して、前年同期は8億3,700万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.97ドルでした。AATI減少の主因はオルタナティブ投資利益および利回り向上利益の減少ですが、損害保険事業部門の保険引受業績の税引前利益の1億4,800万ドル増加および同事業全体のコア投資ポートフォリオの改善により部分的に相殺されました。

2022年第3四半期の連結正味投資利益総額は27億ドルで、前年同期の37億ドルから28%減少しました。減少の主因はオルタナティブ投資利益の減少、コールおよびテNDER所得の減少、公正価値オプション株式のリターン減少でした。2022年第3四半期の利息および配当金利益は5,900万ドル改善し、確定満期およびローン・ポートフォリオ全体の利回りが連続して17ベース・ポイント上昇しました。APTIベース\*の正味投資利益総額は25億ドルとなり、前年同期比7億4,100万ドル減少しました。

2022年9月30日時点の普通株式1株当たりブック・バリューは51.58ドルとなり、市場金利上昇によるその他の包括利益累計額（AOCI）の減少を反映し、2022年6月30日時点から11%、2021年12月31日時点から36%、それぞれ減少しました。調整後普通株式1株当たりブック・バリュー\*は73.28ドルとなり、

2022年6月30日時点から1%、2021年12月31日時点から6%、それぞれ増加しました。これは、配当金および自社株買い戻しを上回る純利益からの留保利益の増加を反映したものです。調整後普通株式1株当たり有形ブック・バリューは67.04ドルで、2022年6月30日時点から1%、2021年12月31日時点から7%、それぞれ増加しました。

AIGは2022年第3四半期にAIG普通株式約2,400万株を購入価額総額約13億ドルで買い戻すとともに、普通株式および優先株式の配当金2億4,700万ドルを支払いました。この結果、2022年9月30日時点のAIGの親会社流動資産は65億ドルとなりました。2022年9月30日時点のAIGの全債券および優先株式の資本総額に対する比率は36.5%となり、AOCIへの金利上昇の影響を主因に、2022年6月30日時点の31.1%から上昇しました。

本日、AIG取締役会はAIG普通株式（NYSE: AIG）の1株当たり0.32ドルの四半期配当金を発表しました。この配当金は2022年12月15日の業務終了時に登録されている株主に対して2022年12月29日に支払われます。

また、AIG取締役会は残余財産優先分配権1株当たり2万5,000ドルのシリーズA利率5.85%非累積永久優先株式の1株当たり365.625ドルの四半期配当金を発表しました。これは預託株式（NYSE: AIG PRA）の形で表わされ、各預託株式は優先株式1株につき権益の1,000分の1を表しています。預託株式保有者は預託株式1株当たり0.365625ドルを受領します。この配当金は2022年11月30日の業務終了時に登録されている保有者に対して2022年12月15日に支払われます。

## 2022年第3四半期の業績概要

	9月30日までの3ヶ月間	
	2021	2022
(単位：百万米ドル、1株当たりの額を除く)		
AIG普通株主に帰属する純利益	\$ 1,660	\$ 2,702
AIG普通株主に帰属する希薄化後1株当たりの純利益	\$ 1.92	\$ 3.50
調整後税引前利益（損失）：	\$ 1,126	\$ 725
損害保険事業部門	811	750
生命保険および退職給付事業部門	877	589
その他の事業	(562)	(614)
	9月30日までの3ヶ月間	
	2021	2022
(単位：百万米ドル、1株当たりの額を除く)		
正味投資利益	\$ 3,715	\$ 2,668
正味投資利益(APTIベース)	3,276	2,535
AIG普通株主に帰属する調整後税引後利益	\$ 837	\$ 509
AIG普通株主に帰属する希薄化後普通株式1株当たり調整後税引後利益*	\$ 0.97	\$ 0.66

加重平均発行済み普通株式数 - 希薄化後 (単位: 百万株)	864.0		771.1	
普通株主資本利益率	10.2	%	25.9	%
調整後普通株主資本利益率	6.5	%	3.7	%
普通株式1株当たりブック・バリュー	\$ 77.03		\$ 51.58	
調整後普通株式1株当たりブック・バリュー	\$ 61.80		\$ 73.28	
発行済み普通株式数 (単位: 百万株)	835.8		747.2	

## 損害保険事業部門

(単位: 百万米ドル)	9月30日までの3ヶ月間			
	2021	2022	増減	
総収入保険料	\$ 9,305	\$ 9,238	(1)	%
正味収入保険料	\$ 6,590	\$ 6,403	(3.0)	%
北米	3,005	3,138	4	
北米コマーシャル・ライン	2,576	2,757	7	
北米個人向け損害保険	429	381	(11)	
北米外	3,585	3,265	(9)	
北米外コマーシャル・ライン	2,071	1,992	(4)	
北米外個人向け損害保険	1,514	1,273	(16)	
保険引受利益 (損失)	\$ 20	\$ 168	NM	%
北米	(166)	(439)	(164)	
北米コマーシャル・ライン	(503)	(374)	26	
北米個人向け損害保険	337	(65)	NM	
北米外	186	607	226	
北米外コマーシャル・ライン	(94)	469	NM	
北米外個人向け損害保険	280	138	(51)	
正味投資利益(APTIベース)	\$ 791	\$ 582	(26)	%
調整後税引前利益	\$ 811	\$ 750	(8)	%
調整後セグメント普通株式利益率	7.9	% 6.7	% (1.2)	pts
<b>引受に関する比率:</b>				
北米コンバインド・レシオ(CR)	105.7	114.0	8.3	pts

北米コマーシャル・ライン CR	120.0	113.6	(6.4)	
北米個人向け損害保険 CR	14.9	116.4	101.5	
北米外CR	94.7	81.4	(13.3)	
北米外コマーシャル・ラインCR	104.8	75.4	(29.4)	
北米外個人向け損害保険CR	82.2	89.8	7.6	
損害保険事業部門CR	99.7	97.3	(2.4)	
損害保険事業部門(GI)損害率	68.4	67.5	(0.9)	pts
控除: 損害率に対する影響:				
大規模自然災害による損失および復活保険料	(9.7)	(9.8)	(0.1)	
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	0.5	0.9	0.4	
GI保険事故年度の調整済み損害率	59.2	58.6	(0.6)	
GI事業費率	31.3	29.8	(1.5)	
GI保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	90.5	88.4	(2.1)	
<u>保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ(AYCR):</u>				
北米 AYCR	91.5	88.2	(3.3)	pts
北米コマーシャル・ライン AYCR	90.5	84.6	(5.9)	
北米個人向け損害保険 AYCR	98.4	112.8	14.4	
北米外AYCR	89.6	88.6	(1.0)	
北米外コマーシャル・ライン AYCR	86.8	80.4	(6.4)	
北米外個人向け損害保険 AYCR	93.0	99.9	6.9	

### 損害保険事業部門

- 2022年第3四半期の正味収入保険料は前年同期比3%減少しましたが、実質ベースでは3%増の64億ドルとなりました。増加の主因は北米コマーシャル・ラインの7%増加で、グローバル・コマーシャル・ラインは4%減少しましたが、実質ベースでは5%増加しました。保険料率の引上げ継続、契約更改率の上昇および堅調な新規契約を反映したものです。北米個人向け傷害保険の正味収入保険料は前年同期比11%減少しました。ワランティ事業の新規契約の減少と富裕層向けポートフォリオの保険引受アクションが減少の主因ですが、旅行保険の増加により部分的に相殺されました。北米外個人向け傷害保険の正味収入保険料は16%、実質ベースでは2%減少しました。ワランティ事業の新規契約の減少が主因ですが、傷害(A&H)保険および旅行保険の増加で部分的に相殺されました。
- 2022年第3四半期のAPTIは前年同期比6,100万ドル減の7億5,000万ドルとなりました。オルタナティブ投資利益の減少がその理由ですが、保険引受利益の改善で部分的に相殺されました。2022年第3四半期の保険引受利益は1億6,800万ドルでした。これに対して、前年同期は2,000万ドルでした。保険引受利益には大規模自然災害損失(CAT)(復活保険料調整前)6億ドルが含まれており、そのうち約4億5,000万ドルはハリケー

ン・イアンによるものです。これに対して、前年同期の CAT（復活保険料調整前）は 6 億 2,800 万ドルでした。また、2022 年第 3 四半期には前年以前事故年度の当年度発生戻入金（PYD）（再保険調整後）7,200 万ドルが含まれています。これに対して、前年同期の前年以前事故年度の当年度発生戻入金（PYD）は 5,000 万ドルでした。

- 損害保険事業部門は堅調な保険引受業績を計上、コンバインド・レシオは 97.3%と、前年同期の99.7%から2.4ポイント改善しました。正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金（PYD）の増加を含む損害率改善が主因でした。損害率は0.9ポイント改善しました。改善の主因はCATエクスポージャーを軽減した包括的再保険プログラムを含む堅調な保険引受業績および新契約獲得費用低下による経費率の改善でした。損害保険事業部門の保険事故年度の調整済み\*コンバインド・レシオは88.4%で、前年同期から2.1ポイント改善しました。保険事故年度の調整済み損害率\*は58.6%で0.6ポイント改善、経費率は1.5ポイント改善の29.8%でした。保険事故年度調整済み損害率の改善は事業構成の改善持続および質の高いポートフォリオを反映したものです。
- コマーシャル・ラインの保険引受業績は引き続き堅調な改善を示しました。事業構成の強化が主因で、正味収入保険料は、保険料率引き上げ持続を背景に、2%、実質ベースでは6%増加しました。保険事故年度調整済みコンバインド・レシオは北米コマーシャル・ラインが前年同期比5.9ポイント改善の84.6%、北米外コマーシャル・ラインが同6.4ポイント改善の80.4%となりました。
- 個人向け損害保険の保険引受業績は悪化しました。事業を再配置し、変動性を軽減するために、引き続きエクスポージャーを引き下げ、再保険付保を増加させたことが主因です。北米個人向け損害保険の保険事故年度調整済みコンバインド・レシオは前年同期比14.4ポイント悪化の112.8%となりました。再保険コストの上昇および富裕層向け事業の譲渡手数料低下によるものです。北米外個人向け損害保険の保険事故年度調整済みコンバインド・レシオは前年同期比6.9ポイント悪化して99.9%となりました。日本および台湾におけるA&H保険請求件数増加がその要因ですが、費用規律により部分的に軽減されました。

## 生命保険および退職給付事業部門

(単位：百万米ドル、指示されている場合を除く)	9月30日までの3ヶ月間			
	2021	2022	増減	
<b>調整後税引前利益</b>	\$ 877	\$ 589	(33)	%
個人向け退職給付	292	200	(32)	
団体向け退職給付	316	183	(42)	
生命保険	134	123	(8)	
機関投資家市場	135	83	(39)	
<b>収入保険料および手数料</b>	\$ 1,756	\$ 2,136	22	%
個人向け退職給付	311	259	(17)	
団体向け退職給付	142	112	(21)	
生命保険	757	912	20	
機関投資家市場	546	853	56	
<b>収入保険料および預かり資産</b>	\$ 7,234	\$ 8,894	23	%
個人向け退職給付	3,257	3,792	16	
団体向け退職給付	1,831	2,039	11	
生命保険	1,152	1,166	1	
機関投資家市場	994	1,897	91	
<b>正味フロー</b>	\$ (919)	\$ (92)	90	%
個人向け退職給付	95	696	NM	
団体向け退職給付	(1,014)	(788)	22	
正味投資利益(APTIベース)	\$ 2,435	\$ 2,004	(18)	%
調整後セグメント普通株式利益率	12.2	% 7.5	% (4.7)	pts

### 生命保険および退職給付事業部門

- 2022年第3半期に生命保険および退職給付事業部門は5億8,900万ドルのAPTIを計上しました。前年同期のAPTI8億7,700万ドルから33%減少しました。減少の主因はマクロ経済環境を背景に正味投資利益および手数料利益が減少したことですが、これは死亡率の改善および年次保険数理上の仮定見直しの結果改善により部分的に相殺されました。資本市場の変動がオルタナティブ投資利益の減少、コールおよびテNDER利益の減少、加えて個人向けと団体向け退職給付事業の手数料収入減少につながりました。新規マネー・レート上昇は引き続きベース・ポートフォリオ利益および利回りの上昇をもたらしています。
- 収入保険料および預かり資産は4つの事業セグメントすべてで増加しまし



た。生命保険および退職給付事業部門は前年同期比で23%の増加を実現しました。その主因は堅調なインデックス型年金保険の預かり資産および堅調な定額型年金保険の預かり資産で、これに機関投資家市場における取引活動が加わり、年金リスクの移転およびGIC預かり資産の増加につながりました。

- 生命保険事業の死亡率は、米国で報告された2022年第3四半期のCOVID関連死者数に基づく、人口10万人当たりの死者数に対しての、AIGが以前に開示したエクスポージャー感応度の6,500万ドルから7,500万ドルに合致しています。

## その他の事業

(単位：百万米ドル)	9月30日までの3ヶ月間		
	2021	2022	増減
その他投資活動等	\$ (583)	\$ (518)	11 %
資産運用	213	51	(76)
連結および消去を除く調整後税引前利益	(370)	(467)	(26)
連結および消去	(192)	(147)	23
調整後税引前損失	\$ (562)	\$ (614)	(9) %

## その他の事業

- 連結および消去を除外すると、調整後税引前損失は、特にオルタナティブ投資における投資利益減少を反映したものです。これは債券買い戻しおよびキャッシュ・テnder・オファーによる利息節約を主因とする会社支払利息の減少により部分的に相殺されました。

## 生命保険および退職給付事業部門の分離

AIGは2022年9月19日、コアブリッジ普通株式8,000万株の1株当たり21.00ドルの公開価格でのIPOを完了しました。これはコアブリッジ普通株式の12.4%に相当します。コアブリッジはAIGの生命保険および退職給付事業部門の持ち株会社です。株式公開によるAIGの手取り総額は、引受割引およびAIGが支払う手数料およびその他費用の控除前で、約17億ドルとなりました。

AIGおよびブラックストーン・インクは2021年11月、ブラックストーンがコアブリッジの9.9%権益を取得する取引を完了しました。ブラックストーンは、生命保険および退職給付事業部門の分離完了後、コアブリッジの持分権を保有しなければなりません。但し、ブラックストーンがコアブリッジのIPOの1年後、2年後および3年後（それぞれ2023年、2024年および2025年の9月19日）に保有株式のそれぞれ25%、67%および75%の売却を認める例外措置が適用され、譲渡制限はIPOの5年後（2027年9月19日）に全面的に解除されることになっています。また、コアブリッジは2021年11月1日、AIG親会社に対する配当金83億ドルを発表しました。当該配当金に関連して、コアブリッジはAIG親会社宛に83億ドルの約束手形（会社間手形）を振り出しました。会社間手形はコアブリッジのIPOに先立ってAIG親会社に支払われました。支払い原資は、(i) 2022年4月5日にコアブリッジが発行した元本総額65億ドルの優先無担保債券、(ii) 2022年8月23日にコアブリッジが発行した元本総額10億ドル、満期2052、利率6.875%の固定対固定リセット利率ジュニア劣後ノート、および(iii) 極度貸付額15億ドル、期間3年のタームローン契約に基づくコアブリッジによる15億ドル

引き出しでした。

IPOを受けて、AIGはコアブリッジの発行済み株式の77.7%を保有しており、引き続きコアブリッジの資産、負債および事業業績をAIGの要約連結財務諸表に連結、反映させています。AIGが保有していないコアブリッジの持分部分はAIGの要約連結財務諸表に非支配持分として反映されています。

AIGおよびブラックストーン傘下の長期パーペチュアル投資会社であるブラックストーン・リアルエステート・インカム・トラスト（BREIT）は2021年12月15日、BREITによるAIGの米アフォードブル・ハウジング・ポートフォリオのAIG持ち分権の取得を完了しました。米アフォードブル・ハウジング・ポートフォリオの過去の業績はAIGの生命保険および退職給付事業部門の事業セグメントに計上されています。

加えて、2022年3月28日、AIGおよびブラックロックは基本合意書を締結し、2022年4月以降、AIGの保険会社子会社の一部がブラックロックと別の投資管理契約を締結し、これに従い、ブラックロックがAIGのために特定流動債券および私募資産最大600億ドルならびにコアブリッジのために資産最大900億ドルを運用します。加えて、AIGおよびコアブリッジはブラックロックの世界的な投資運用テクノロジー「アラディン」へのアクセスを得ることになります。

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、約70の国や地域で損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客さまの資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。持株会社 AIG, Inc.はニューヨーク証券取引所に上場しています。

AIGの追加情報については[www.aig.com](http://www.aig.com) | You Tube : [www.youtube.com/aig](http://www.youtube.com/aig) | Twitter : @AIGinsurance [www.twitter.com/AIGinsurance](http://www.twitter.com/AIGinsurance) | LinkedIn : <http://www.linkedin.com/company/aig> を参照ください。AIGに関する追加情報を記載しているこれら参照先は便宜上提供されており、かかるウェブサイトに記載されている情報は、参照することにより本プレスリリースに組み込まれていません。

AIGとは、AIG, Inc.傘下の全世界の損害保険、生命保険、リタイアメント・サービス事業ならびに一般的な保険事業のマーケティング名です。より詳細な情報については当社のホームページ（[www.aig.com](http://www.aig.com)）を参照ください。全ての商品およびサービスはAIG, Inc.傘下の子会社または関連会社により引き受けまたは提供されています。これらの商品およびサービスは一部の国では利用できない可能性があり、実際の契約に準拠します。保険以外の商品・サービスは、独立した第三者によって提供されることがあります。一部の損害保険の補償については、サープラス・ラインの保険会社によって提供される可能性があります。サープラス・ラインの保険会社は、一般的に米国州政府保証基金に加入しないため、当該基金による保証は行われません。



## AIG Reports Third Quarter 2022 Results

November 1, 2022

- **Successfully completed the initial public offering (IPO) of Corebridge Financial, Inc. (NYSE: CRBG) (Corebridge) common stock, representing 12.4% of the common stock of Corebridge**
- **General Insurance combined ratio of 97.3% improved by 2.4 points from the prior year quarter, despite the impact from Hurricane Ian and other natural catastrophes in the quarter**
- **General Insurance adjusted accident year combined ratio\* of 88.4% improved by 2.1 points from the prior year quarter, led by Global Commercial with 5.9 points of improvement to 83.0%**
- **Life and Retirement posted another quarter of strong sales with premiums and deposits of \$8.9 billion, up from \$7.2 billion in the prior year quarter with positive year on year growth in each of the four operating segments**
- **Net income per diluted common share was \$3.50 and adjusted after-tax income\* (AATI) per diluted common share was \$0.66 compared to \$0.97 in the prior year quarter, primarily due to lower alternative investment income, offset by a \$148 million increase in General Insurance underwriting income**
- **Repurchased \$1.3 billion of AIG common stock in the third quarter**
- **Announced the redemption and repurchase of approximately \$1.8 billion of aggregate principal amount of debt, which has closed**

### THIRD QUARTER NOTEWORTHY ITEMS

- General Insurance adjusted pre-tax income (APTI) of \$750 million decreased \$61 million from prior year quarter due to \$228 million of lower alternative investment income partially offset by improvement in underwriting results with 2.4 points of combined ratio improvement, benefiting from continued underwriting discipline and a reinsurance program, which together decreased volatility and mitigated catastrophe losses (CATs), as well as a lower expense ratio.
- Life and Retirement APTI of \$589 million reflects lower net investment income (NII) due to lower alternative investment returns and call and tender income, partially offset by higher base portfolio income and an improvement in mortality compared to prior year quarter. Life and Retirement return on adjusted segment common equity\* (Adjusted ROCE) for the third quarter was 7.5% on an annualized basis.
- Net income attributable to AIG common shareholders was \$2.7 billion, or \$3.50 per diluted common share, for the third quarter of 2022 compared to \$1.7 billion or \$1.92 per diluted common share, in the prior year quarter.
- Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders was \$509 million, or \$0.66 per diluted common share, compared to \$837 million, or \$0.97 per diluted common share, in the prior year quarter, due to lower net investment income, primarily alternative investment income.
- Return on common equity (ROCE) and Adjusted ROCE\* were 25.9% and 3.7%, respectively, on an annualized basis for the third quarter of 2022. Adjusted ROCE was impacted by lower net investment income and catastrophe losses.

\* Refers to financial measure not calculated in accordance with generally accepted accounting principles (non-GAAP); definitions of non-GAAP measures and reconciliations to their closest GAAP measures can be found in this news release under the heading Comment on Regulation G and Non-GAAP Financial Measures.

NEW YORK--(BUSINESS WIRE)--Nov. 1, 2022-- American International Group, Inc. (NYSE: AIG) today reported financial results for the third quarter ended September 30, 2022.

AIG Chairman & Chief Executive Officer Peter Zaffino said: "AIG had another very strong quarter of financial performance, driven by our successful execution of strategic priorities, and highlighted by the initial public offering of Corebridge, another major accomplishment by our team, as well as continued profitable underwriting results and decreased volatility in General Insurance. These results are even more impressive when viewed against the backdrop of a challenging macro-economic environment and one of the largest insured-loss hurricanes in U.S. history.

"The Corebridge IPO was completed in mid-September and I am very pleased with the successful outcome, which represented a critical milestone for AIG and Corebridge that enables both companies to continue to drive growth and value as market leaders in their respective industries.

"General Insurance once again delivered outstanding improvement and absolute financial performance building on our momentum over the last few years. The 210-basis point improvement in the accident year combined ratio, ex-CATs\* to 88.4%, marked the 17<sup>th</sup> consecutive quarter of improvement. North America Commercial overall rate increased 9%, excluding Workers' Compensation, in the third quarter and continued to exceed loss cost trends. I am extremely pleased with the overall underwriting profit in the quarter, particularly given \$600 million of catastrophe losses, or 9.8 points of the combined ratio, of which approximately \$450 million is attributable to Hurricane Ian. The strong performance in General Insurance demonstrates the benefits of the high-quality work we have done to transform our global portfolio and implement a best-in-class reinsurance program, which together have dramatically reduced volatility.

"Life and Retirement delivered another solid quarter with premiums and deposits of \$8.9 billion, a 23% increase from the prior year quarter with growth

in each of the four business segments. Sales in Individual Retirement grew by 16% to \$3.8 billion, including a doubling of sales in fixed annuities and a record sales quarter in index annuities. Additionally, base net investment income from the fixed income portfolio started to see meaningful benefits from the higher interest rate environment.

"In the third quarter, we continued to progress and solidify our excellent partnerships with Blackstone, Inc. ("Blackstone") and BlackRock, Inc. ("BlackRock"). We have transferred \$50 billion of Corebridge AUM to Blackstone and completed \$100 billion of asset transfer to BlackRock with \$37 billion moving from AIG and \$63 billion moving from Corebridge.

"We also continued our disciplined and balanced approach to capital management. We returned \$1.5 billion to shareholders through \$1.3 billion of AIG common stock repurchases and \$247 million of dividends. Corebridge issued hybrid debt of \$1 billion and drew down \$1.5 billion of the delayed draw term loan. Subsequent to the close of the quarter, AIG redeemed or repurchased approximately \$1.8 billion in aggregate principal amount of debt. Additionally, shortly after the IPO, Corebridge declared its first quarterly dividend of \$148 million as part of its \$600 million annual dividend commitment, which has already been paid.

"I am extremely proud of all that has been accomplished by our dedicated colleagues at AIG and Corebridge. We remain well-positioned to continue to drive excellence, deliver improving returns and create long-term value to our shareholders and other stakeholders."

For the third quarter of 2022, pre-tax income from continuing operations was \$3.8 billion, up from \$2.2 billion from the prior year quarter. Third quarter of 2022 net income attributable to AIG common shareholders was \$2.7 billion, or \$3.50 per diluted common share, compared to net income of \$1.7 billion, or \$1.92 per diluted common share, in the prior year quarter. The pre-tax income increase was primarily due to an increase in net realized gains on derivative activities and higher underwriting income in General Insurance, reflecting the continued earn-in of positive rate change and strength of renewal retentions and new business production, favorable business mix changes, as well as increased favorable prior year development, partially offset by lower alternative investment income. The pre-tax income increase was partially offset by income attributable to noncontrolling interest associated with Blackstone's 9.9% ownership interest and the additional 12.4% of public floating interest in Corebridge following the IPO.

AATI was \$509 million, or \$0.66 per diluted common share, for the third quarter of 2022 compared to \$837 million, or \$0.97 per diluted common share, in the prior year quarter. The decrease in AATI was primarily due to lower alternative investment income, and yield enhancement income, partially offset by a \$148 million pre-tax increase in General Insurance underwriting results and improvement in core investment portfolio income across the business.

Total consolidated net investment income for the third quarter of 2022 was \$2.7 billion, down 28% from \$3.7 billion in the prior year quarter, primarily due to lower alternative investment income, lower call and tender income and lower returns from fair value option equity securities. Interest and dividends income improved \$59 million in the third quarter with yield across the fixed maturity and loan portfolios up 17 basis points sequentially. Total net investment income on an APTI basis\* was \$2.5 billion, a decrease of \$741 million compared to the prior year quarter.

Book value per common share was \$51.58 as of September 30, 2022, a decrease of 11% from June 30, 2022 and 36% from December 31, 2021, reflecting a reduction in accumulated other comprehensive income (AOCI) as a result of higher interest rates. Adjusted book value per common share\* was \$73.28, an increase of 1% from June 30, 2022 and 6% from December 31, 2021, reflecting growth in retained earnings from net income in excess of dividends and share repurchases. Adjusted tangible book value per common share\* was \$67.04, an increase of 1% from June 30, 2022 and 7% from December 31, 2021.

For the third quarter of 2022, AIG repurchased approximately \$1.3 billion of common stock or approximately 24 million shares and paid \$247 million of common and preferred dividends, resulting in AIG Parent liquidity of \$6.5 billion as of September 30, 2022. AIG's ratio of total debt and preferred stock to total capital at September 30, 2022 was 36.5%, up from 31.1% at June 30, 2022, primarily due to the impact of higher interest rates on AOCI.

The AIG Board of Directors declared a quarterly cash dividend of \$0.32 per share on AIG common stock (NYSE: AIG). The dividend is payable on December 29, 2022 to stockholders of record at the close of business on December 15, 2022.

The AIG Board of Directors also declared a quarterly cash dividend of \$365.625 per share on AIG Series A 5.85% Non-Cumulative Perpetual Preferred Stock, with a liquidation preference of \$25,000 per share, which is represented by depositary shares (NYSE: AIG PRA), each representing a 1/1,000th interest in a share of preferred stock. Holders of depositary shares will receive \$0.365625 per depositary share. The dividend is payable on December 15, 2022 to holders of record at the close of business on November 30, 2022.

## FINANCIAL SUMMARY

	Three Months Ended	
	September 30, 2022	
(\$ in millions, except per common share amounts)	2021	2022
Net income attributable to AIG common shareholders	\$ 1,660	\$ 2,702
Net income per diluted share attributable to AIG common shareholders	\$ 1.92	\$ 3.50
Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 1,126	\$ 725

General Insurance	811	<b>750</b>
Life and Retirement	877	<b>589</b>
Other Operations	(562 )	<b>(614 )</b>
Net investment income	\$ 3,715	<b>\$ 2,668</b>
Net investment income, APTI basis	3,276	<b>2,535</b>
Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders	\$ 837	<b>\$ 509</b>
Adjusted after-tax income per diluted share attributable to AIG common shareholders	\$ 0.97	<b>\$ 0.66</b>
Weighted average common shares outstanding - diluted (in millions)	864.0	<b>771.1</b>
Return on common equity	10.2	<b>% 25.9 %</b>
Adjusted return on common equity	6.5	<b>% 3.7 %</b>
Book value per common share	\$ 77.03	<b>\$ 51.58</b>
Adjusted book value per common share	\$ 61.80	<b>\$ 73.28</b>
Common shares outstanding (in millions)	835.8	<b>747.2</b>

## GENERAL INSURANCE

### Three Months Ended September 30,

(\$ in millions)	2021	2022	Change
Gross premiums written	\$ 9,305	<b>\$ 9,238</b>	(1 ) %
Net premiums written	\$ 6,590	<b>\$ 6,403</b>	(3.0 ) %
North America	3,005	<b>3,138</b>	4
North America Commercial Lines	2,576	<b>2,757</b>	7

North America Personal Insurance	429	<b>381</b>	(11 )
International	3,585	<b>3,265</b>	(9 )
International Commercial Lines	2,071	<b>1,992</b>	(4 )
International Personal Insurance	1,514	<b>1,273</b>	(16 )
Underwriting income (loss)	\$ 20	<b>\$ 168</b>	NM %
North America	(166 )	<b>(439 )</b>	(164 )
North America Commercial Lines	(503 )	<b>(374 )</b>	26
North America Personal Insurance	337	<b>(65 )</b>	NM
International	186	<b>607</b>	226
International Commercial Lines	(94 )	<b>469</b>	NM
International Personal Insurance	280	<b>138</b>	(51 )
Net investment income, APTI basis	\$ 791	<b>\$ 582</b>	(26 )%
Adjusted pre-tax income	\$ 811	<b>\$ 750</b>	(8 )%
Return on adjusted segment common equity	7.9	% <b>6.7</b>	% (1.2 ) pts

**Underwriting ratios:**

North America Combined Ratio (CR)	105.7	<b>114.0</b>	8.3 pts
North America Commercial Lines CR	120.0	<b>113.6</b>	(6.4 )
North America Personal Insurance CR	14.9	<b>116.4</b>	101.5
International CR	94.7	<b>81.4</b>	(13.3 )
International Commercial Lines CR	104.8	<b>75.4</b>	(29.4 )
International Personal Insurance CR	82.2	<b>89.8</b>	7.6
General Insurance (GI) CR	99.7	<b>97.3</b>	(2.4 )
GI Loss ratio	68.4	<b>67.5</b>	(0.9 ) pts

Less: impact on loss ratio

Catastrophe losses and reinstatement premiums	(9.7 )	<b>(9.8 )</b>	(0.1 )
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	0.5	<b>0.9</b>	0.4
GI Accident year loss ratio, as adjusted	59.2	<b>58.6</b>	(0.6 )
GI Expense ratio	31.3	<b>29.8</b>	(1.5 )
GI Accident year combined ratio, as adjusted	90.5	<b>88.4</b>	(2.1 )

Accident year combined ratio, as adjusted (AYCR):

North America AYCR	91.5	<b>88.2</b>	(3.3 ) pts
North America Commercial Lines AYCR	90.5	<b>84.6</b>	(5.9 )
North America Personal Insurance AYCR	98.4	<b>112.8</b>	14.4
International AYCR	89.6	<b>88.6</b>	(1.0 )
International Commercial Lines AYCR	86.8	<b>80.4</b>	(6.4 )
International Personal Insurance AYCR	93.0	<b>99.9</b>	6.9

### General Insurance

- Net premiums written in the third quarter of 2022 decreased 3% from the prior year quarter, but increased 3% on a constant dollar basis to \$6.4 billion driven by strong North America Commercial Lines growth of 7% and International Commercial Lines decrease of 4% or growth of 5% on a constant dollar basis, reflecting continued positive rate change, higher renewal retentions and strong new business production. North America Personal Insurance net premiums written decreased 11% primarily due to a decline in Warranty and ongoing underwriting actions in our High-Net-Worth portfolio, offset by growth in Travel. International Personal Insurance net premiums written decreased 16%, or 2% on a constant dollar basis, primarily due to lower production in Warranty, partially offset by growth in Accident & Health (A&H) and Travel.
- Third quarter 2022 APTI decreased by \$61 million to \$750 million from the prior year quarter due to lower alternative investment income partially offset by improvement in underwriting income. Underwriting income was \$168 million in the third quarter of 2022, compared to \$20 million in the prior year quarter. The underwriting income included \$600 million of CATs, before reinstatement premiums, of which approximately \$450 million came from Hurricane Ian, compared to \$628 million CATs, before reinstatement premiums in the prior year quarter. Third quarter 2022 also included favorable prior year loss reserve development, net of reinsurance (PYD) of \$72 million compared to favorable PYD of \$50 million in the prior year quarter.
- General Insurance generated strong underwriting results, with a combined ratio of 97.3%, a 2.4 point improvement from 99.7% in the prior year quarter. The loss ratio improved by 0.9 points, driven by strong underwriting results including comprehensive reinsurance programs that mitigated CAT exposure, and an improved expense ratio, benefiting from lower acquisition expense. The General Insurance accident year combined ratio, as adjusted\*, was 88.4%, an improvement of 2.1 points from the prior year quarter with a 0.6 point improvement in the accident year loss ratio, as adjusted\* to 58.6%, and a 1.5 points improvement in the expense ratio to 29.8%. The improvement in accident year loss ratio, as adjusted, reflected continued improvement in commercial business mix and quality of the portfolio.
- Commercial Lines underwriting results continued to show strong improvement due to enhanced business mix, and net premiums written grew 2%, or 6% on a constant dollar basis, with continued rate increases. The accident year combined ratio, as adjusted, for North America Commercial Lines improved 5.9 points to 84.6%, and for International Commercial Lines improved 6.4 points to 80.4% compared to the prior year quarter.
- Personal Insurance underwriting results deteriorated as we reposition the business and continue to reduce exposures and

increase reinsurance cessions to mitigate volatility. The North America Personal Insurance accident year combined ratio, as adjusted, deteriorated 14.4 points to 112.8% compared to the prior year quarter, due to higher reinsurance costs and lower ceding commission for High-Net-Worth business. The International Personal Insurance accident year combined ratio, as adjusted, deteriorated by 6.9 points to 99.9% from the prior year quarter, due to an increased frequency of A&H claims in Japan and Taiwan, partially mitigated by expense discipline.

## LIFE AND RETIREMENT

	Three Months Ended		
	September 30,		
<i>(\$ in millions, except as indicated)</i>	2021	2022	Change
Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 877	\$ 589	(33 ) %
Individual Retirement	292	200	(32 )
Group Retirement	316	183	(42 )
Life Insurance	134	123	(8 )
Institutional Markets	135	83	(39 )
Premiums and fees	\$ 1,756	\$ 2,136	22 %
Individual Retirement	311	259	(17 )
Group Retirement	142	112	(21 )
Life Insurance	757	912	20
Institutional Markets	546	853	56
Premiums and deposits	\$ 7,234	\$ 8,894	23 %
Individual Retirement	3,257	3,792	16
Group Retirement	1,831	2,039	11
Life Insurance	1,152	1,166	1
Institutional Markets	994	1,897	91
Net flows	\$ (919 )	\$ (92 )	90 %
Individual Retirement	95	696	NM



Group Retirement	(1,014 )	(788 )	22
Net investment income, APTI basis	\$ 2,435	\$ 2,004	(18 ) %
Return on adjusted segment common equity	12.2 %	7.5 %	(4.7 ) pts

### Life and Retirement

- Life and Retirement reported APTI of \$589 million for the third quarter of 2022, down 33% from \$877 million in the prior year quarter, primarily due to macroeconomic conditions resulting in lower net investment income and fee income, partially offset by less adverse mortality and an improved outcome in the annual actuarial assumption review. Capital markets volatility drove lower alternative investment returns and lower call and tender income in addition to lower fee income in Individual and Group Retirement. Higher new money rates continue to provide uplift to the base portfolio income and yield.
- Premiums and deposits were higher across all four operating segments; Life and Retirement achieved 23% growth from the prior year quarter largely as a result of robust index annuity deposits and strong fixed annuity deposits combined with transactional activity in Institutional Markets driving higher pension risk transfer and GIC deposits.
- The mortality experience in Life Insurance is in line with the previously disclosed estimate of exposure sensitivity of \$65 million to \$75 million per 100,000 population deaths based upon the reported third quarter COVID-related deaths in the United States.

### OTHER OPERATIONS

	Three Months Ended		
	September 30,		
(\$ in millions)	2021	2022	Change
Corporate and Other	\$ (583 )	\$ (518 )	11 %
Asset Management	213	51	(76 )
Adjusted pre-tax loss before consolidation and eliminations	(370 )	(467 )	(26 )
Consolidation and eliminations	(192 )	(147 )	23
Adjusted pre-tax loss	\$ (562 )	\$ (614 )	(9 ) %

### Other Operations

- Before consolidation and eliminations, the adjusted pre-tax loss reflects lower investment income particularly within alternative investments. This was partially offset by lower corporate interest expense primarily driven by interest savings from debt repurchases and cash tender offers.

### LIFE AND RETIREMENT SEPARATION

On September 19, 2022, AIG closed on the IPO of 80 million shares of Corebridge common stock at a public offering price of \$21.00 per share, representing 12.4 percent of Corebridge's common stock. Corebridge is the holding company for AIG's Life and Retirement business. The aggregate gross proceeds of the offering to AIG, before deducting underwriting discounts and commissions and other expenses payable by AIG, were approximately \$1.7 billion.

In November 2021, AIG and Blackstone Inc. completed the acquisition by Blackstone of a 9.9 percent equity stake in Corebridge. Blackstone is required to hold its ownership interest in Corebridge following the completion of the separation of the Life and Retirement business, subject to exceptions permitting Blackstone to sell 25%, 67% and 75% of its shares after the first, second and third anniversaries, respectively, of Corebridge IPO (which will be September 19, 2023, 2024 and 2025, respectively), with the transfer restrictions terminating in full on the fifth anniversary of the IPO (September 19, 2027). Also in November 2021, Corebridge declared a dividend payable to AIG Parent in the amount of \$8.3 billion. In connection with such dividend, Corebridge issued a promissory note to AIG Parent in the amount of \$8.3 billion (the Intercompany Note). The Intercompany Note was repaid to AIG Parent prior to the IPO of Corebridge with the proceeds of (i) the issuance by Corebridge, on April 5, 2022, of senior unsecured notes in the aggregate principal amount of \$6.5 billion, (ii) the issuance by Corebridge, on August 23, 2022, of \$1.0 billion aggregate principal amount of

6.875% Fixed-to-Fixed Reset Rate Junior Subordinated Notes due 2052, and (iii) borrowings by Corebridge of \$1.5 billion under its \$1.5 billion 3-Year Delayed Draw Term Loan Agreement.

Following the IPO, AIG owns 77.7% of the outstanding common stock of Corebridge and continues to consolidate the assets, liabilities, and results of operations of Corebridge in AIG's Condensed Consolidated Financial Statements. The portion of equity interest of Corebridge that AIG does not own is reflected as noncontrolling interest in AIG's Condensed Consolidated Financial Statements.

On December 15, 2021, AIG and Blackstone Real Estate Income Trust (BREIT), a long-term, perpetual capital vehicle affiliated with Blackstone, completed the acquisition by BREIT of AIG's interests in a U.S. affordable housing portfolio. The historical results of the U.S. affordable housing portfolio were reported in our Life and Retirement operating segments.

Additionally, on March 28, 2022, AIG and BlackRock entered into a binding letter of intent, and since April 2022, certain of AIG's insurance company subsidiaries entered into separate investment management agreements with BlackRock, pursuant to which BlackRock will manage certain liquid fixed income and private placement assets representing up to \$60 billion of assets on behalf of AIG and up to \$90 billion of assets on behalf of Corebridge. In addition, AIG and Corebridge are gaining access to BlackRock's world-class investment management technology, Aladdin.

## CONFERENCE CALL

AIG will host a conference call tomorrow, Wednesday, November 2, 2022 at 8:30 a.m. ET to review these results. The call is open to the public and can be accessed via a live listen-only webcast in the Investors section of [www.aig.com](http://www.aig.com). A replay will be available after the call at the same location.

###

Additional supplementary financial data is available in the Investors section at [www.aig.com](http://www.aig.com).

Certain statements in this press release and other publicly available documents may include, and members of AIG management may from time to time make and discuss, statements which, to the extent they are not statements of historical or present fact, may constitute "forward-looking statements" within the meaning of the U.S. Private Securities Litigation Reform Act of 1995. These forward-looking statements are intended to provide management's current expectations or plans for AIG's future operating and financial performance, based on assumptions currently believed to be valid and accurate. Forward-looking statements are often preceded by, followed by or include words such as "will," "believe," "anticipate," "expect," "expectations," "intend," "plan," "strategy," "prospects," "project," "anticipate," "should," "guidance," "outlook," "confident," "focused on achieving," "view," "target," "goal," "estimate" and other words of similar meaning in connection with a discussion of future operating or financial performance. These statements, may include, among other things, projections, goals and assumptions that relate to future actions, prospective services or products, future performance or results of current and anticipated services or products, sales efforts, expense reduction efforts, the outcome of contingencies such as legal proceedings, anticipated organizational, business or regulatory changes, such as the separation of the Life and Retirement business from AIG, the effect of catastrophes and macroeconomic and/or geopolitical events, anticipated dispositions, monetization and/or acquisitions of businesses or assets, or successful integration of acquired businesses, management succession and retention plans, exposure to risk, trends in operations and financial results, and other statements that are not historical facts.

All forward-looking statements involve risks, uncertainties and other factors that may cause AIG's actual results and financial condition to differ, possibly materially, from the results and financial condition expressed or implied in the forward-looking statements. Factors that could cause AIG's actual results to differ, possibly materially, from those in specific projections, goals, assumptions and statements include, without limitation:

- the effects of economic conditions in the markets in which AIG and its businesses operate in the U.S. and globally and any changes therein, including financial market conditions, fluctuations in interest rates and foreign currency exchange rates and inflationary pressures, each of which may also be affected by geopolitical conflicts, including the conflict between Russia and Ukraine;
- the occurrence of catastrophic events, both natural and man-made, including geopolitical conflicts, pandemics, civil unrest and the effects of climate change;
- availability of reinsurance or access to reinsurance on acceptable terms;
- disruptions in the availability of AIG's electronic data systems or those of third parties, including as a result of information technology, cybersecurity or data security breaches due to supply chain disruptions, cyber-attacks or security vulnerabilities, the likelihood of which may increase as a result of continued remote business operations;
- AIG's ability to realize expected strategic, financial, operational or other benefits from the separation of Corebridge;
- AIG's ability to effectively execute on and benefit from its ongoing restructuring programs;
- changes in judgments concerning potential cost-saving opportunities;
- concentrations in AIG's investment portfolios, including as a result of our asset management relationships with Blackstone and BlackRock;
- changes in the valuation of AIG's investments;
- the effectiveness of AIG's enterprise risk management policies and procedures, including with respect to business continuity and disaster recovery plans;
- the effectiveness of strategies to recruit and retain key personnel and to implement effective succession plans;
- actions by rating agencies with respect to AIG's credit and financial strength ratings as well as those of its businesses and subsidiaries;
- changes to sources of or access to liquidity;
- changes in judgments concerning the recognition of deferred tax assets and the impairment of goodwill;
- changes in judgments or assumptions concerning insurance underwriting and insurance liabilities;
- AIG's ability to successfully dispose of, monetize and/or acquire businesses or assets or successfully integrate acquired businesses;

- nonperformance or defaults by counterparties, including Fortitude Reinsurance Company Ltd. (Fortitude Re);
- requirements, which may change from time to time, of the global regulatory framework to which AIG is subject;
- significant legal, regulatory or governmental proceedings;
- the effects of sanctions, including those related to the conflict between Russia and Ukraine, and failure to comply therewith;
- the impact of COVID-19 and its variants and responses thereto;
- AIG's ability to effectively execute on environmental, social and governance targets and standards; and
- such other factors discussed in Part I, Item 2. Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations (MD&A) in AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended September 30, 2022 (which will be filed with the SEC), and Part I, Item 1A. Risk Factors and Part II, Item 7. MD&A in AIG's Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2021.

Forward-looking statements speak only as of the date of this press release, or in the case of any document incorporated by reference, the date of that document. AIG is not under any obligation to publicly update or revise any forward-looking statements, whether as a result of new information, future events or otherwise, except as required by applicable law. Additional information as to factors that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in any forward-looking statements is disclosed from time to time in our filings with the SEC.

###

#### COMMENT ON REGULATION G AND NON-GAAP FINANCIAL MEASURES

Throughout this press release, including the financial highlights, AIG presents its financial condition and results of operations in the way it believes will be most meaningful and representative of its business results. Some of the measurements AIG uses are "Non-GAAP financial measures" under Securities and Exchange Commission rules and regulations. GAAP is the acronym for generally accepted accounting principles in the United States. The non-GAAP financial measures AIG presents are listed below and may not be comparable to similarly-named measures reported by other companies. The reconciliations of such measures to the most comparable GAAP measures in accordance with Regulation G are included within the relevant tables attached to this news release or in the Third Quarter 2022 Financial Supplement available in the Investors section of AIG's website, [www.aig.com](http://www.aig.com).

Unless otherwise mentioned or unless the context indicates otherwise, we use the terms "AIG," "we," "us" and "our" to refer to American International Group, Inc., a Delaware corporation, and its consolidated subsidiaries.

AIG uses the following operating performance measures because AIG believes they enhance the understanding of the underlying profitability of continuing operations and trends of AIG's business segments. AIG believes they also allow for more meaningful comparisons with AIG's insurance competitors. When AIG uses these measures, reconciliations to the most comparable GAAP measure are provided on a consolidated basis.

**Book Value per Common Share, Excluding Accumulated Other Comprehensive Income (Loss) (AOCI) adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets and Deferred Tax Assets (DTA) (Adjusted Book Value per Common Share)** is used to show the amount of our net worth on a per-common share basis after eliminating items that can fluctuate significantly from period to period including changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio, foreign currency translation adjustments and U.S. tax attribute deferred tax assets. This measure also eliminates the asymmetrical impact resulting from changes in fair value of our available for sale securities portfolio wherein there is largely no offsetting impact for certain related insurance liabilities. In addition, we adjust for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets held by AIG in support of Fortitude Re's reinsurance obligations to AIG post deconsolidation of Fortitude Re (Fortitude Re funds withheld assets) since these fair value movements are economically transferred to Fortitude Re. We exclude deferred tax assets representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards and foreign tax credits as they have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As net operating loss carryforwards and foreign tax credits are utilized, the portion of the DTA utilized is included in these book value per common share metrics. Adjusted Book Value per Common Share is derived by dividing Total AIG common shareholders' equity, excluding AOCI adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets, and DTA (**Adjusted Common Shareholders' Equity**), by total common shares outstanding.

**Book Value per Common Share, Excluding Goodwill, Value of Business Acquired (VOBA), Value of Distribution Channel Acquired (VODA), Other Intangible Assets, AOCI adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets, and Deferred Tax Assets (DTA) (Adjusted Tangible Book Value per Common Share)** is used to provide more accurate measure of the realizable value of shareholder on a per-common share basis. Adjusted Tangible Book Value per Common Share is derived by dividing Total AIG common shareholders' equity, excluding intangible assets, AOCI adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets, and DTA (**Adjusted Tangible Common Shareholders' Equity**), by total common shares outstanding.

**AIG Return on Common Equity (ROCE) – Adjusted After-tax Income Excluding AOCI adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets and DTA (Adjusted return on common equity)** is used to show the rate of return on common shareholders' equity. We believe this measure is useful to investors because it eliminates items that can fluctuate significantly from period to period, including changes in fair value of our available for sale securities portfolio, foreign currency translation adjustments and U.S. tax attribute deferred tax assets. This measure also eliminates the asymmetrical impact resulting from changes in fair value of our available for sale securities portfolio wherein there is largely no offsetting impact for certain related insurance liabilities. In addition, we adjust for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets since these fair value movements are economically transferred to Fortitude Re. We exclude deferred tax assets representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards and foreign tax credits as they have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As net operating loss carryforwards and foreign tax credits are utilized, the portion of the DTA utilized is included in Adjusted Return on Common Equity. Adjusted Return on Common Equity is derived by dividing actual or annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders by average Adjusted Common Shareholders' Equity.

**General Insurance and Life and Retirement Adjusted Segment Common Equity** is based on segment equity adjusted for the attribution of debt and preferred stock (Segment Common Equity) and is consistent with AIG's Adjusted Common Shareholders' Equity definition.

**General Insurance and Life and Retirement Return on Adjusted Segment Common Equity – Adjusted After-tax Income (Return on adjusted segment common equity)** is used to show the rate of return on Adjusted Segment Common Equity. Return on Adjusted Segment Common Equity is derived by dividing actual or annualized Adjusted After-tax Income by Average Adjusted Segment Common Equity.

**Adjusted After-tax Income Attributable to General Insurance and Life and Retirement** is derived by subtracting attributed interest expense, income tax expense and attributed dividends on preferred stock from APTI. Attributed debt and the related interest expense and dividends on preferred stock are calculated based on our internal allocation model. Tax expense or benefit is calculated based on an internal attribution methodology that considers among other things the taxing jurisdiction in which the segments conduct business, as well as the deductibility of expenses in those jurisdictions.

**Adjusted Revenues** exclude Net realized gains (losses), income from non-operating litigation settlements (included in Other income for GAAP purposes) and changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits (included in Net investment income for GAAP purposes). Adjusted revenues is a GAAP measure for our segments.

**Adjusted Pre-tax Income (APTI)** is derived by excluding the items set forth below from income from continuing operations before income tax. This definition is consistent across our segments. These items generally fall into one or more of the following broad categories: legacy matters having no relevance to our current businesses or operating performance; adjustments to enhance transparency to the underlying economics of transactions; and measures that we believe to be common to the industry. APTI is a GAAP measure for our segments. Excluded items include the following:

- changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits;
- changes in benefit reserves and deferred policy acquisition costs (DAC), value of business acquired (VOBA), and deferred sales inducements (DSI) related to net realized gains and losses;
- changes in the fair value of equity securities;
- net investment income on Fortitude Re funds withheld assets
- following deconsolidation of Fortitude Re, net realized gains and losses on Fortitude Re funds withheld assets;
- loss (gain) on extinguishment of debt;
- all net realized gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication. Earned income on such economic hedges is reclassified from net realized gains and losses to specific APTI line items based on the economic risk being hedged (e.g. net investment income and interest credited to policyholder account balances);
- income or loss from discontinued operations;
- net loss reserve discount benefit (charge);
- pension expense related to lump sum payments to former employees;
- net gain or loss on divestitures;
- non-operating litigation reserves and settlements;
- restructuring and other costs related to initiatives designed to reduce operating expenses, improve efficiency and simplify our organization;
- the portion of favorable or unfavorable prior year reserve development for which we have ceded the risk under retroactive reinsurance agreements and related changes in amortization of the deferred gain;
- integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses;
- losses from the impairment of goodwill; and
- non-recurring costs associated with the implementation of non-ordinary course legal or regulatory changes or changes to accounting principles.

**Adjusted After-tax Income attributable to AIG common shareholders (AATI)** is derived by excluding the tax effected APTI adjustments described above, dividends on preferred stock, noncontrolling interest on net realized gains (losses), other non-operating expenses and the following tax items from net income attributable to AIG:

- deferred income tax valuation allowance releases and charges;
- changes in uncertain tax positions and other tax items related to legacy matters having no relevance to our current businesses or operating performance; and
- net tax charge related to the enactment of the Tax Cuts and Jobs Act (Tax Act).

See page 16 for the reconciliation of Net income attributable to AIG to Adjusted After-tax Income Attributable to AIG.

**Ratios:** We, along with most property and casualty insurance companies, use the loss ratio, the expense ratio and the combined ratio as measures of underwriting performance. These ratios are relative measurements that describe, for every \$100 of net premiums earned, the amount of losses and loss adjustment expenses (which for General Insurance excludes net loss reserve discount), and the amount of other underwriting expenses that would be incurred. A combined ratio of less than 100 indicates underwriting income and a combined ratio of over 100 indicates an underwriting loss. Our ratios are calculated using the relevant segment information calculated under GAAP, and thus may not be comparable to similar ratios calculated for regulatory reporting purposes. The underwriting environment varies across countries and products, as does the degree of litigation activity, all of which affect such ratios. In addition, investment returns, local taxes, cost of capital, regulation, product type and competition can have an effect on pricing and consequently on profitability as reflected in underwriting income and associated ratios.

**Accident year loss and Accident year combined ratios, as adjusted (Accident year loss ratio, ex-CAT and Accident year combined ratio, ex-CAT):** both the accident year loss and accident year combined ratios, as adjusted, exclude catastrophe losses (CATs) and related reinstatement premiums, prior year development, net of premium adjustments, and the impact of reserve discounting. Natural catastrophe losses are generally weather or seismic events, in each case, having a net impact on AIG in excess of \$10 million and man-made catastrophe losses, such as terrorism and civil disorders that exceed the \$10 million threshold. We believe that as adjusted ratios are meaningful measures of our underwriting results on an ongoing basis as they exclude catastrophes and the impact of reserve discounting which are outside of management's control. We also exclude prior

year development to provide transparency related to current accident year results.

Underwriting ratios are computed as follows:

1. Loss ratio = Loss and loss adjustment expenses incurred ÷ Net premiums earned (NPE)
2. Acquisition ratio = Total acquisition expenses ÷ NPE
3. General operating expense ratio = General operating expenses ÷ NPE
4. Expense ratio = Acquisition ratio + General operating expense ratio
5. Combined ratio = Loss ratio + Expense ratio
6. CATs and reinstatement premiums = [Loss and loss adjustment expenses incurred – (CATs)] ÷ [NPE +/- Reinstatement premiums related to catastrophes] – Loss ratio
7. Accident year loss ratio, as adjusted (AYLR ex-CAT) = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/- Reinstatement premiums related to catastrophes +/- Prior year premiums + Adjustment for ceded premium under reinsurance contracts related to prior accident years]
8. Accident year combined ratio, as adjusted (AYCR ex-CAT) = AYLR ex-CAT + Expense ratio
9. Prior year development net of reinsurance and prior year premiums = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/- Reinstatement premiums related to catastrophes +/- Prior year premiums] – Loss ratio – CATs and reinstatement premiums ratio.

**Premiums and deposits:** includes direct and assumed amounts received and earned on traditional life insurance policies, group benefit policies and life-contingent payout annuities, as well as deposits received on universal life, investment-type annuity contracts, Federal Home Loan Bank (FHLB) funding agreements and mutual funds. We believe the measure of premiums and deposits is useful in understanding customer demand for our products, evolving product trends and our sales performance period over period.

Results from discontinued operations are excluded from all of these measures.

###

American International Group, Inc. (AIG) is a leading global insurance organization. AIG member companies provide a wide range of property casualty insurance, life insurance, retirement solutions, and other financial services to customers in approximately 70 countries and jurisdictions. These diverse offerings include products and services that help businesses and individuals protect their assets, manage risks and provide for retirement security. AIG common stock is listed on the New York Stock Exchange.

Additional information about AIG can be found at [www.aig.com](http://www.aig.com) | YouTube: [www.youtube.com/aig](http://www.youtube.com/aig) | Twitter: @AIGinsurance [www.twitter.com/AIGinsurance](http://www.twitter.com/AIGinsurance) | LinkedIn: [www.linkedin.com/company/aig](http://www.linkedin.com/company/aig). These references with additional information about AIG have been provided as a convenience, and the information contained on such websites is not incorporated by reference into this press release.

AIG is the marketing name for the worldwide property-casualty, life and retirement, and general insurance operations of American International Group, Inc.. For additional information, please visit our website at [www.aig.com](http://www.aig.com). All products and services are written or provided by subsidiaries or affiliates of American International Group, Inc.. Products or services may not be available in all countries and jurisdictions, and coverage is subject to underwriting requirements and actual policy language. Non-insurance products and services may be provided by independent third parties. Certain property-casualty coverages may be provided by a surplus lines insurer. Surplus lines insurers do not generally participate in state guaranty funds, and insureds are therefore not protected by such funds.

## Reconciliations of Adjusted Pre-tax and After-tax Income

	Three Months Ended September 30,							
	2021				2022			
	Total Tax	Non-			Total Tax	Non-		
	(Benefit)	controlling	After		(Benefits)	controlling	After	
	Pre-tax	Charge	Interests <sup>(d)</sup>	Tax	Pre-tax	Charge	Interests <sup>(d)</sup>	Tax
<b>Pre-tax income/net income, including noncontrolling interests</b>	\$ 2,176	\$ 439	\$ —	\$ 1,737	\$ 3,847	\$ 806	\$ —	\$ 3,041
Noncontrolling interests			(70 )	(70 )			(332 )	(332 )
<b>Pre-tax income/net income attributable to AIG</b>	<b>2,176</b>	<b>439</b>	<b>(70 )</b>	<b>1,667</b>	<b>3,847</b>	<b>806</b>	<b>(332 )</b>	<b>2,709</b>

Dividends on preferred stock				7				7
<b>Net income attributable to AIG common shareholders</b>				1,660				<b>2,702</b>
<b>Adjustments:</b>								
Changes in uncertain tax positions and other tax adjustments <sup>(a)</sup>	35	—		(35 )	2	—		(2 )
Deferred income tax valuation allowance charges <sup>(b)</sup>	(45 )	—		45	(8 )	—		8
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	(26 )	(5 )	—	(21 )	(6 )	(1 )	—	(5 )
Changes in benefit reserves and DAC, VOBA and DSI related to net realized gains (losses)	(9 )	(3 )	—	(6 )	28	6	—	22
Changes in the fair value of equity securities	45	7	—	38	(16 )	(3 )	—	(13 )
Loss on extinguishment of debt	51	10	—	41	—	—	—	—
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(495 )	(103 )	—	(392 )	(155 )	(32 )	—	(123 )
Net realized (gains) losses on Fortitude Re funds withheld assets	(190 )	(40 )	—	(150 )	86	17	—	69
Net realized (gains) losses on Fortitude Re funds withheld embedded derivative	209	44	—	165	(1,757 )	(369 )	—	(1,388 )
Net realized gains <sup>(c)</sup>	(652 )	(132 )	—	(520 )	(1,449 )	(299 )	—	(1,150 )
Loss from discontinued operations				—				—
Net gain on divestitures	(102 )	(22 )	—	(80 )	(6 )	(1 )	—	(5 )
Non-operating litigation reserves and settlements	3	—	—	3	(3 )	(1 )	—	(2 )
Favorable prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	(115 )	(23 )	—	(92 )	(62 )	(13 )	—	(49 )
Net loss reserve discount charge	72	15	—	57	10	2	—	8
Pension expense related to a one-time lump sum payment to former employees	27	6	—	21	—	—	—	—
Integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses	11	3	—	8	52	11	—	41
Restructuring and other costs	104	22	—	82	147	29	—	118
Non-recurring costs related to regulatory or accounting changes	17	4	—	13	9	2	—	7
Noncontrolling interests <sup>(d)</sup>			—	—			271	271

**Adjusted pre-tax income/Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders**      \$ 1,126   \$ 212      \$ (70 )   \$ 837      \$ 725   \$ 148      \$ (61 )   \$ 509

**Reconciliations of Adjusted Pre-tax and After-tax Income**

**Nine Months Ended September 30,**

	2021				2022			
	Pre-tax	Total Tax Charge	Non-controlling Interests <sup>(d)</sup>	After Tax	Pre-tax	Total Tax Charge	Non-controlling Interests <sup>(d)</sup>	After Tax
<b>Pre-tax income/net income, including noncontrolling interests</b>	\$ 7,051	\$ 1,234	\$ —	\$ 5,817	\$ 14,003	\$ 2,913	\$ —	\$ 11,089
Noncontrolling interests			(175 )	(175 )			(1,084 )	(1,084 )
<b>Pre-tax income/net income attributable to AIG</b>	7,051	1,234	(175 )	5,642	14,003	2,913	(1,084 )	10,005
Dividends on preferred stock				22				22
<b>Net income attributable to AIG common shareholders</b>				5,620				9,983
<b>Adjustments:</b>								
Changes in uncertain tax positions and other tax adjustments <sup>(a)</sup>		901	—	(901 )	90	—	—	(90 )
Deferred income tax valuation allowance (releases) charges <sup>(b)</sup>		(706 )	—	706	15	—	—	(15 )
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	(61 )	(12 )	—	(49 )	(29 )	(6 )	—	(23 )
Changes in benefit reserves and DAC, VOBA and DSI related to net realized gains (losses)	74	15	—	59	429	90	—	339
Changes in the fair value of equity securities	36	5	—	31	41	9	—	32
Loss on extinguishment of debt	149	31	—	118	299	63	—	236
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(1,488)	(312 )	—	(1,176)	(634 )	(133 )	—	(501 )
Net realized (gains) losses on Fortitude Re funds withheld assets	(536 )	(113 )	—	(423 )	312	65	—	247
Net realized gains on Fortitude Re funds withheld embedded derivative	(117 )	(24 )	—	(93 )	(7,851 )	(1,649 )	—	(6,202 )
Net realized gains <sup>(c)</sup>	(1,220)	(260 )	—	(960 )	(3,257 )	(734 )	—	(2,523 )

Loss from discontinued operations				—				1
Net gain on divestitures	(108 )	(23 )	—	(85 )	(45 )	(9 )	—	(36 )
Non-operating litigation reserves and settlements	3	—	—	3	(41 )	(9 )	—	(32 )
Favorable prior year development and related amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	(199 )	(41 )	—	(158 )	(206 )	(43 )	—	(163 )
Net loss reserve discount charge	62	13	—	49	4	1	—	3
Pension expense related to a one-time lump sum payment to former employees	27	6	—	21	—	—	—	—
Integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses	55	12	—	43	136	29	—	107
Restructuring and other costs	304	64	—	240	415	85	—	330
Non-recurring costs related to regulatory or accounting changes	58	12	—	46	22	5	—	17
Noncontrolling interests <sup>(d)</sup>			—	—			852	852
<b>Adjusted pre-tax income/Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders</b>	<b>\$ 4,090</b>	<b>\$ 802</b>	<b>\$(175 )</b>	<b>\$ 3,091</b>	<b>\$ 3,598</b>	<b>\$ 782</b>	<b>\$(232 )</b>	<b>\$ 2,562</b>

(a) Nine months ended September 30, 2021 includes the completion of audit activity by the Internal Revenue Service.

(b) Nine months ended September 30, 2021 includes an increase in the valuation allowance against a portion of certain tax attribute carryforwards of AIG's U.S. federal consolidated income tax group, as well as net valuation allowance release in certain foreign jurisdictions.

Includes all net realized gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative (c) instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication and net realized gains and losses on Fortitude Re funds withheld assets.

(d) Includes the portion of equity interest of Corebridge that AIG does not own and realized non-operating gains on consolidated investment entities.

### Summary of Key Financial Metrics

	Three Months Ended			Nine Months Ended		
	September 30,			September 30,		
Earnings per common share:	2021	2022	% Inc. (Dec.)	2021	2022	% Inc. (Dec.)
<b>Basic</b>						
Income from continuing operations	\$ 1.95	\$ 3.54	81.5	% \$ 6.53	\$ 12.64	93.6 %
Income from discontinued operations	—	—	NM	—	—	NM
<b>Net income attributable to AIG common shareholders</b>	<b>\$ 1.95</b>	<b>\$ 3.54</b>	<b>81.5</b>	<b>\$ 6.53</b>	<b>\$ 12.64</b>	<b>93.6</b>

### Diluted



Income from continuing operations	1.92	\$ 3.50	82.3		6.45	\$ 12.49	93.6	
Income from discontinued operations	—	—	NM		—	—	NM	
<b>Net income attributable to AIG common shareholders</b>	\$ 1.92	\$ 3.50	82.3		\$ 6.45	\$ 12.49	93.6	
<b>Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders per diluted share</b>	\$ 0.97	\$ 0.66	(32.0	) %	\$ 3.55	\$ 3.21	(9.6	) %

**Weighted average shares outstanding:**

Basic	852.8	763.1		861.2	789.9
Diluted	864.0	771.1		871.0	799.1

**Reconciliation of Book Value per Common Share**

<b>As of period end:</b>	September 30, 2021	December 31, 2021	June 30, 2022	September 30, 2022	
<b>Total AIG shareholders' equity</b>	\$ 64,863	\$ 65,956	\$ 45,344	\$ 39,023	
Less: Preferred equity	485	485	485	485	
<b>Total AIG common shareholders' equity (a)</b>	64,378	65,471	44,859	38,538	
Less: Deferred tax assets (DTA)*	7,083	5,221	4,582	4,556	
Less: Accumulated other comprehensive income (AOCI)	8,606	6,687	(17,656	) (23,793	)
Add: Cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re Funds withheld assets	2,966	2,791	(2,223	) (3,021	)
Subtotal: AOCI plus cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	5,640	3,896	(15,433	) (20,772	)
<b>Total adjusted common shareholders' equity (b)</b>	\$ 51,655	\$ 56,354	\$ 55,710	\$ 54,754	
Less: Intangible assets:					
Goodwill	4,058	4,056	3,935	3,860	
Value of business acquired	117	111	99	91	
Value of distribution channel acquired	467	458	438	428	
Other intangibles	302	300	289	286	
<b>Total intangible assets</b>	4,944	4,925	4,761	4,665	
<b>Total adjusted tangible common shareholders' equity (c)</b>	\$ 46,711	\$ 51,429	\$ 50,949	\$ 50,089	
<b>Total common shares outstanding (d)</b>	835.8	818.7	771.3	747.2	

As of period end:	September 30, % Inc.		December 31, % Inc.		June 30, % Inc.		September 30,
	2021	(Dec.)	2021	(Dec.)	2022	(Dec.)	2022
Book value per common share (a÷d)	\$ 77.03	(33.0) %	\$ 79.97	(35.5) %	\$ 58.16	(11.3) %	\$ 51.58
Adjusted book value per common share (b÷d)	61.80	18.6	68.83	6.5	72.23	1.5	73.28
Adjusted tangible book value per common share (c÷d)	55.89	19.9	62.82	6.7	66.06	1.5	67.04

#### Reconciliation of Return On Common Equity

	Three Months Ended September 30,		
	2021	2022	
Annualized net income (loss) attributable to AIG common shareholders (a)	\$ 6,640	\$ 10,808	
Annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders (b)	\$ 3,348	\$ 2,036	
Average AIG Common Shareholders' equity (c)	\$ 64,988	\$ 41,699	
Less: Average DTA*	7,229	4,569	
Less: Average AOCI	9,408	(20,725 )	
Add: Average cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	3,154	(2,622 )	
Subtotal: AOCI plus cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	6,254	(18,103 )	
Average adjusted common shareholders' equity (d)	\$ 51,505	\$ 55,233	
ROCE (a÷c)	10.2	% 25.9	%
Adjusted return on common equity (b÷d)	6.5	% 3.7	%

#### Reconciliation of Net Investment Income

	Three Months Ended	
	September 30,	
	2021	2022
Net Investment Income per Consolidated Statements of Operations	\$ 3,715	\$ 2,668
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	(14 )	(14 )
Changes in the fair value of equity securities	45	(16 )
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(495 )	(155 )

Net realized gains (losses) related to economic hedges and other	25	52
<b>Total Net Investment Income - APTI Basis</b>	<b>\$ 3,276</b>	<b>\$ 2,535</b>

**Net Premiums Written - Change in Constant Dollar**

**Three Months Ended September 30, 2022**

	Global -		International -	
	General Insurance	Commercial Lines	Commercial Lines	Personal Insurance
<b>Foreign exchange effect on worldwide premiums:</b>				
<b>Change in net premiums written</b>				
Increase (decrease) in original currency	3	% 6	% 5	%(2 ) %
Foreign exchange effect	(6 )	(4 )	(9 )	(14 )
<b>Increase (decrease) as reported in U.S. dollars</b>	<b>(3 )</b>	<b>% 2</b>	<b>%(4 )</b>	<b>%(16 ) %</b>

**Reconciliations of Accident Year Loss and Accident Year Combined Ratios, as Adjusted**

	Three Months Ended	
	2021	2022
<b>Total General Insurance</b>		
Combined ratio	99.7	<b>97.3</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(9.7 )	<b>(9.8 )</b>
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	0.5	<b>0.9</b>
Accident year combined ratio, as adjusted	90.5	<b>88.4</b>
<b>North America</b>		
Combined ratio	105.7	<b>114.0</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(15.2 )	<b>(17.2 )</b>

Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	1.0	<b>(8.6 )</b>
Accident year combined ratio, as adjusted	91.5	<b>88.2</b>

#### **North America - Commercial Lines**

Combined ratio	120.0	<b>113.6</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(15.2 )	<b>(18.1 )</b>
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	(14.3 )	<b>(10.9 )</b>
Accident year combined ratio, as adjusted	90.5	<b>84.6</b>

#### **North America - Personal Insurance**

Combined ratio	14.9	<b>116.4</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(15.2 )	<b>(11.4 )</b>
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	98.7	<b>7.8</b>
Accident year combined ratio, as adjusted	98.4	<b>112.8</b>

#### **International**

Combined ratio	94.7	<b>81.4</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(5.1 )	<b>(3.0 )</b>
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	—	<b>10.2</b>
Accident year combined ratio, as adjusted	89.6	<b>88.6</b>

#### **International - Commercial Lines**

Combined ratio	104.8	<b>75.4</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(7.1 )	<b>(2.7 )</b>
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	(10.9 )	<b>7.7</b>
Accident year combined ratio, as adjusted	86.8	<b>80.4</b>

**International - Personal Insurance**

Loss ratio	41.1	<b>50.0</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.6 )	<b>(3.3 )</b>
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	13.4	<b>13.4</b>
Accident year loss ratio, as adjusted	51.9	<b>60.1</b>

Combined ratio	82.2	<b>89.8</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.6 )	<b>(3.3 )</b>
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	13.4	<b>13.4</b>
Accident year combined ratio, as adjusted	93.0	<b>99.9</b>

**Global - Commercial Insurance**

Combined ratio	113.4	<b>98.0</b>
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(11.7 )	<b>(11.7 )</b>
Prior year development, net of reinsurance and prior year premiums	(12.8 )	<b>(3.3 )</b>
Accident year combined ratio, as adjusted	88.9	<b>83.0</b>

**Reconciliation of General Insurance Return on Adjusted Segment Common Equity**

	<b>Three Months Ended</b>	
	<b>September 30, 2022</b>	
	<b>2021</b>	<b>2022</b>
<b>Adjusted pre-tax income</b>	<b>\$ 811</b>	<b>\$ 750</b>
Interest expense on attributed financial debt	149	132
<b>Adjusted pre-tax income including attributed interest expense</b>	<b>662</b>	<b>618</b>
Income tax expense	153	129
<b>Adjusted after-tax income</b>	<b>509</b>	<b>489</b>

Dividends declared on preferred stock	3	3
<b>Adjusted after-tax income attributable to common shareholders</b>	<b>\$ 506</b>	<b>\$ 486</b>
<b>Ending adjusted segment common equity</b>	<b>\$ 25,884</b>	<b>\$ 28,150</b>
<b>Average adjusted segment common equity</b>	<b>\$ 25,679</b>	<b>\$ 29,114</b>
<b>Return on adjusted segment common equity</b>	7.9	% 6.7 %

Total segment shareholder's equity	\$ 26,381	\$ 21,593
Less: Preferred equity	201	209
Total segment common equity	26,180	21,384
Less: Accumulated other comprehensive income (AOCI)	492	(7,494 )
Add: Cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	196	(728 )
Subtotal: AOCI plus cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	296	(6,766 )
Total adjusted segment common equity	\$ 25,884	\$ 28,150

**Reconciliation of Life and Retirement Return on Adjusted Segment Common Equity**

**Three Months Ended**

**September 30, 2022**

2021      2022

<b>Adjusted pre-tax income</b>	<b>\$ 877</b>	<b>\$ 589</b>
Interest expense on attributed financial debt	75	93
<b>Adjusted pre-tax income including attributed interest expense</b>	<b>802</b>	<b>496</b>
Income tax expense	160	100
<b>Adjusted after-tax income</b>	<b>642</b>	<b>396</b>
Dividends declared on preferred stock	2	2
<b>Adjusted after-tax income attributable to common shareholders</b>	<b>\$ 640</b>	<b>\$ 394</b>

<b>Ending adjusted segment common equity</b>	\$ 21,235	<b>\$ 21,519</b>
<b>Average adjusted segment common equity</b>	\$ 20,962	<b>\$ 21,028</b>
<b>Return on adjusted segment common equity</b>	12.2 %	<b>7.5 %</b>
Total segment shareholder's equity	\$ 29,131	<b>\$ 6,477</b>
Less: Preferred equity	143	<b>155</b>
Total segment common equity	28,988	<b>6,322</b>
Less: Accumulated other comprehensive income (AOCI)	10,577	<b>(17,490)</b>
Add: Cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	2,824	<b>(2,293 )</b>
Subtotal: AOCI plus cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	7,753	<b>(15,197)</b>
Total adjusted segment common equity	\$ 21,235	<b>\$ 21,519</b>

#### Reconciliations of Premiums and Deposits

##### Three Months Ended

##### September 30, 2022

2021      **2022**

#### Individual Retirement:

Premiums	\$ 66	<b>\$ 56</b>
Deposits	3,190	<b>3,740</b>
Other	1	<b>(4 )</b>
<b>Premiums and deposits</b>	<b>\$ 3,257</b>	<b>\$ 3,792</b>

#### Group Retirement:

Premiums	\$ 7	<b>\$ 3</b>
Deposits	1,824	<b>2,036</b>
Other	—	<b>—</b>

**Premiums and deposits** \$ 1,831 **\$ 2,039**

**Life Insurance:**

Premiums \$ 469 **\$ 541**

Deposits 403 **405**

Other 280 **220**

**Premiums and deposits** \$ 1,152 **\$ 1,166**

**Institutional Markets:**

Premiums \$ 499 **\$ 804**

Deposits 488 **1,085**

Other 7 **8**

**Premiums and deposits** \$ 994 **\$ 1,897**

**Total Life and Retirement:**

Premiums \$ 1,041 **\$ 1,404**

Deposits 5,905 **7,266**

Other 288 **224**

**Premiums and deposits** \$ 7,234 **\$ 8,894**

View source version on [businesswire.com](https://www.businesswire.com/news/home/20221101005955/en/): <https://www.businesswire.com/news/home/20221101005955/en/>

Quentin McMillan (Investors): [quentin.mcmillan@aig.com](mailto:quentin.mcmillan@aig.com)

Dana Ripley (Media): [dana.ripley@aig.com](mailto:dana.ripley@aig.com)

Source: American International Group, Inc.